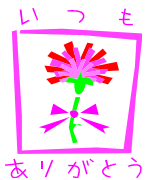


被災地と、みんなを結ぶ

つながろう！絆・連合



発行：連合（総合組織局・連帯活動局）

電話 03-5295-0513 FAX 03-5295-0547 rentai@sv.rengo-net.or.jp日本労働組合総連合会（連合） <http://www.jtuc-rengo.or.jp/>

第7回 被災4県 地方連合会事務局長との意見交換会開催 ～震災を忘れない取り組みに向けて～

2018年1月23日（火）連合本部において、第7回「被災4県地方連合会事務局長との意見交換会」を開催しました。連合岩手から佐藤事務局長、連合宮城から大黒事務局長、連合福島から加藤事務局長、連合熊本から佐々木事務局長、連合本部からは山本副事務局長、山根木総合組織局長、石田連帯活動局長、他3名が出席しました。

山本副事務局長が開会にあたり、「阪神淡路大震災以降、新潟県中越地震、東日本大震災、熊本地震が発生したが、これらの震災の記憶が風化している現状がある。連合は震災があったことを忘れず、防災・減災の取り組みを継続し、震災を忘れない、風化させない取り組みを続けることが重要だと考える」と述べました。その後、各地方連合会からの現状報告を受けるとともに、今後取り組む内容について意見交換を行いました。



◆山本副事務局長◆



写真:左から佐々木事務局長、加藤事務局長、大黒事務局長、佐藤事務局長、石田連帯活動局長、山根木総合組織局長

《各県からの現状報告と課題（要旨）》

◆連合岩手 佐藤事務局長◆

いまだに仮設住宅で生活をしている高齢者は少なくない。その一方で今から新しい家を建てる気にもなれず、マンション暮らしをせざるを得なく、環境が違いすぎるといった声もある。高校卒業後の進路に関しては、支援策が講じられたため進学者が増える結果となっている。4月開催予定の「地域フォーラム2018」に向けては、現在準備を進めている。

◆連合宮城 大黒事務局長◆

震災アンケートの結果、記憶の風化を感じている人が7割いるという実態が明らかになった。政策が減災にシフトしていく中で震災について伝承する人の育成や、若い世代が震災についての課題を感じられるようなアプローチが必要である。

◆**連合福島 加藤事務局長**◆

バスや中間貯蔵施設への搬送トラックの運転手の人材不足が大きな課題であり、5月に復興局への要請を行う予定である。そのため、連合福島と私鉄労連、運輸労連で意見交換し、事務レベルでとりまとめを行っている。

◆**連合熊本 佐々木事務局長**◆

インフラ面は一部を除き復旧できたが、阿蘇熊本間が依然遮断されている状態である。また仮設住宅や公営住宅の入居もメドがつき、これからの本格的な復興のためには、土地区画整理事業等の被災地の復興まちづくりに必要な事業を市町村と連携し、進めていく必要がある。

《復興ヒアリングの開催》

○ 復興・再生に向けた政策に関するヒアリング調査の実施

被災地の復興状況やこれまで実施された施策などについて、関係者からのヒアリングを通じ、残された課題や新たな課題を把握・整理し要求と提言および連合の重点政策に反映するとともに、政府への政策・制度要求につなげることを目的に以下の日程で実施します。

～実施スケジュール・主な訪問先～

【宮城】	1月29日(月)・30日(火)	宮城労働局、宮城復興局、名取市
【熊本】	1月31日(水)・2月1日(木)	熊本労働局、熊本県、熊本市
【岩手】	2月13日(火)・14日(水)	岩手労働局、岩手復興局、連合岩手
【福島】	2月14日(水)・15日(木)	福島労働局、連合福島

《震災を忘れない取り組み》

○ 連合「絆をつなぐ集中期間」の取り組み

3月11日から4月14日までの期間を「絆をつなぐ集中期間」と設定し、防災・減災の意識喚起の取り組みとあわせて連合本部、構成組織、地方連合会が一体となった運動を展開します。

- ・「東日本大震災・熊本を中心とする九州地震」パネル展の開催
パネル・救援ボランティア時の服装の展示や震災時・わんぱくプロジェクト・救援ボランティアのDVD上映。
- ・ホームページやSNSを活用した情報発信
各地域の取り組みの様子などの情報発信。

○ 今後の取り組み

- ・継続的な被災地訪問などの取り組み
- ・「連合 いのちを守る絆フォーラム2018」の開催(案)について
日時：2018年6月6日(水) 17時～18時30分
会場：オリエンタルホテル東京ベイホテル

《その他》

- 第89回メーデー中央大会式典「被災地からの代表アピール」については、連合福島が担当する。
- 「つながろう！絆・連合」ニュースについては、今後実施する各種取り組みを掲載することとし、復興ヒアリング、パネル展の開催、「いのちを守る絆フォーラム2018」の開催に合わせて発行していく。

本ニュースは、全国の皆さんの声をベースに発行しています。「こんな取り組みしているよ」「今、現地はこうなっている」などの声や写真を是非お寄せください。

●連合・連帯活動局●

TEL：03-5295-0513 FAX：03-5295-0547

メール：rentai@sv.rengo-net.or.jp